

矢板市教育大綱

2026 - 2030

みんなで未来へつないでいく、
教育のまちやいた

矢板市教育大綱
2026 - 2030



<お問い合わせ>

矢板市総合教育会議事務局（総合政策課）電話：0287-43-1112 Eメール：sougouseisaku@city.yaita.tochigi.jp

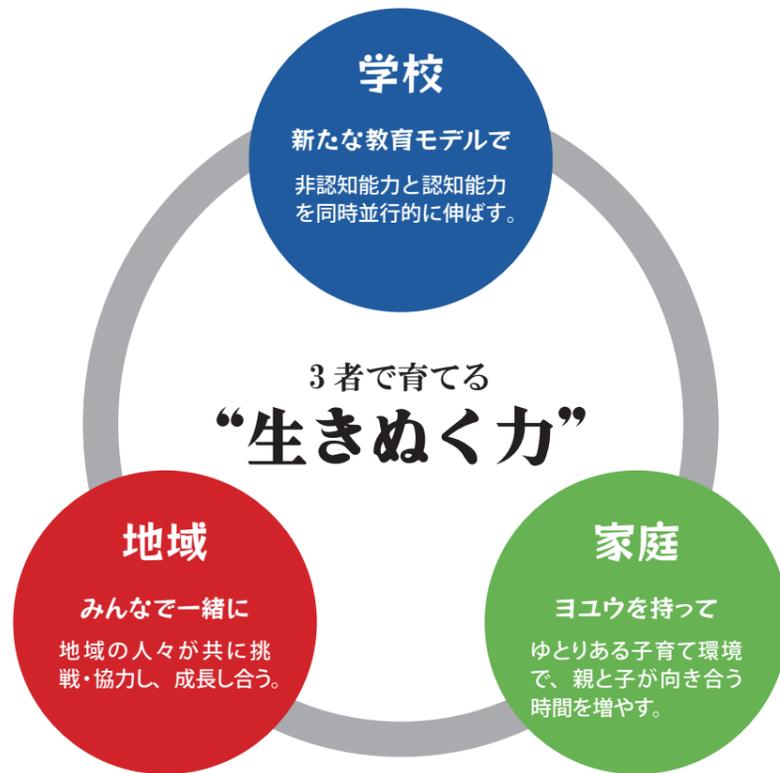
“非認知能力”を伸ばし、“生きぬく力”を育てる

MISSION

非認知能力とは、やりぬく力、自分を整える力、立ち直る力、好奇心や想像力、他者へ配慮し協調・協働できる力など、人生に大きく影響する重要な能力です。

非認知能力を伸ばすことは、認知能力（学力テストのように数値化できる能力）を高めることにもつながります。これら双方の能力をバランスよく伸ばすことで、不透明で変化の激しい時代を「生きぬく力」を育てます。

自然豊かで人が温かく、スポーツが盛んな矢板の良さを生かし、学校・地域・家庭・行政が互いに寄り添いながら、子育てしやすい環境を作り上げます。そしてすべての世代が一体となって「生きぬく力」を育て合っています。



基本目標 1

社会を生きぬく実践力をつける

子どもたちが、豊富な「知識」、豊かな「心」、丈夫な「体」をしっかり身に付け、将来の予測が困難な時代で生きぬくための力を育てます。

個別目標

- ・社会をしなやかに生きぬいていくための対応力（非認知能力）を伸ばす
- ・知識の基礎となる確かな学力（認知能力）を効率的に高める
- ・人と人とのつながりを大切にし、他者を尊重できる豊かな人間性と社会性を育む
- ・基本的な生活習慣や食育、スポーツを通じて心身の健康を保持・増進する

基本目標 2

郷土愛を持ち、郷土の担い手としての当事者意識を育む人づくりを進める

矢板市への愛着と誇りを育み、市民が自治の精神のもと学びを生かして主体的にまちづくりに取り組めるよう、行政と連携を密にし、生涯学習機会の充実を図ります。

個別目標

- ・伝統や文化、芸術、産業を学び伝え、活用を推進する
- ・地域の学びを支える団体や人材を支援・育成する
- ・地域が連携した交流活動（多世代交流など）を促進する
- ・行政の生涯学習機能の充実や民間との生涯学習ネットワーク構築を進める

基本目標 3

生涯スポーツ活動を推進する

スポーツの持つ多面的な機能を活かして、市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で幸せに暮らすための環境を充実させます。

個別目標

- ・生涯スポーツを推進する
- ・スポーツ施設の機能を拡充する
- ・競技レベルの向上を推進する
- ・スポーツを通じた持続可能なまちづくりを推進する

基本目標 4

教育環境を充実させる

安全安心な学校環境や共生社会に向けたインクルーシブな教育環境に加え、地域や家庭の教育環境も充実させ、未来の矢板市を担う子どもたちを学校・地域・家庭が一体となって育てます。

個別目標

- ・誰一人取り残さない柔軟な教育環境の充実を図る
- ・安全安心な教育施設の充実を図る
- ・地域と協力して小中学校の適正規模・適正配置を推進する
- ・学校と地域が連携・協働して教育を進める
- ・教員の生産性を向上させる（DX化・授業改善・個別化の打破・業務改善など）

基本目標 5

特色ある多様な学びを展開する

テクノロジーなども活用し効率よく学力を向上させ、矢板特有の地域の強みを生かして、数値だけでは測れない能力を伸ばす、バランスの取れた両立型の教育を推進します。

個別目標

- ・非認知能力を伸ばす教育モデルを探求する
- ・キャリア・ライフデザイン教育を推進する（実社会との接点を強化する）
- ・世界を視野に入れた人材育成のための国際教育を推進する
- ・教育や生涯学習へのICT・AIの活用により個別最適な学びを推進する
- ・幼保小連携や小中学校の連携を推進する

基本目標 6

子育ての負担軽減と家庭での教育の充実を図る

学校・地域・家庭・関係機関が連携を図りながら、余裕をもって子育てできる環境づくりと親子と子どもが学び合う時間の創出を図ります。

個別目標

- ・子育てや教育に関する不安感・負担感の軽減を図る
- ・家庭での教育に関する学習機会を充実させる
- ・家庭教育指導者の育成を進める
- ・読書活動を推進する

VISION

矢板で育った子どもたちが、郷土愛を持ち、持続可能なまちの創り手として活躍する、教育で選ばれるまち、矢板へ